

<http://www.e-meisei.net>

No. 48

発行 (社)愛知建築士会名古屋西支部

編集 広報渉外委員会

愛知県清須市西枇杷島町南六軒37

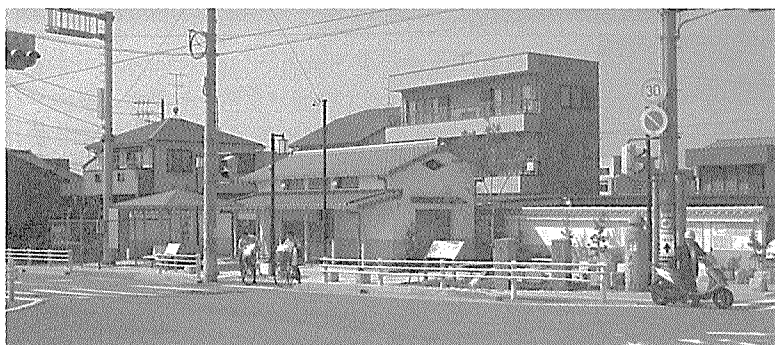
みのじの館内

TEL(052)502-0938 FAX(052)502-0939

印刷所 株式会社 ウエルオン TEL(052)732-2227

新川橋詰ポケットパーク完成

美濃路まちづくり推進協議会 白井 鏡造



前号でお知らせした新川橋詰ポケットパークが10月中旬に完成しました。建設途中に施工会社が民事再生法の申請をするという、不測の事態に会い、当初の9月末竣工が2週間ばかり遅れました。それでも、10月9日の清須市「夢 ウォーカー みのじ」(清須市商工会連合会主催)には、完成直前のポケットパークを開放し、休憩所として、お茶無料サービスやトイレ利用に活用されました。当日のウォークラリーは名鉄協賛で、約3千人が西枇杷島橋詰神社から清洲城を目指し、美濃路を切れ目なく、歩いていました。ポケットパークではトイレ利用のため、行列が絶えませんでした。当初の公衆便所設置はかありませんでしたが、こうして、イベントにトイレ利用ができる施設がこの地に設けられたことは意義深いことと実感しました。



この公園は、史跡公園でもあります。日本瓦葺きの塀には、3枚の説明板が設置されています。美濃路に近い右端には、私達協議会が文章と美濃路概念図を作成した、「美濃路の歴史」が掲げられ、中央には新川開削にいたるいきさつや、完成までの苦難の経過が記された説明板、左端には平成12年9月の「東海豪雨による新川の決壊」の説明板が設置されました。また、新川堤防内にあった「新川開削者頌徳碑」もこの新川開削説明板の前に据えられ、誇らしげに建っています。新川橋西詰道標はかつてこの場所に置かれていたものを、復元しました。津島街道道標と常夜灯を兼ねており、清須五条橋の親柱を利用したものです。今回、照明器具を組み込み常夜灯の役割も復元しました。その他、旧新川橋親柱や、津島街道道標(1788年建立)も据えられ、さながら新川の歴史資料園のようです。素晴らしい施設の完成が美濃路の活性化に大きく貢献してくれることを期待しています。

第6回

夢

の

ら

く

が

き

児童絵画コンクール

(社)愛知建築士会 青年部 主催

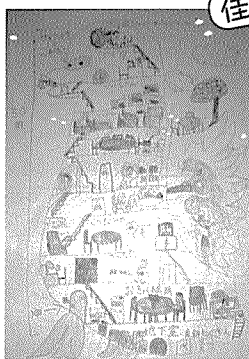
名西支部賞



★「もう一つの日本」
児玉 知也(2年)



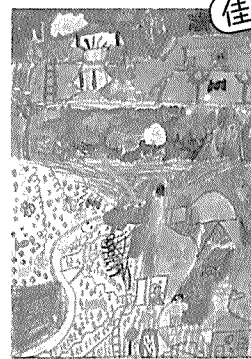
佳作
「太陽の家」
石原 佳奈(6年)



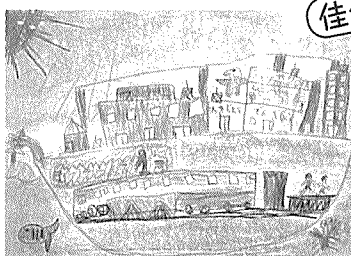
佳作
「鳥の家」
小鹿 幸帆(4年)



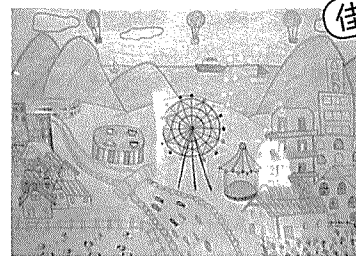
佳作
「開け、未来の都市」
瀧本 美月(5年)



佳作
「森のあそびば」
橋本 昂祐(2年)



佳作
「せかいのよう」
墨 明飛(1年)



佳作
「メルヘンチックな未来」
森川 光紗恵(6年)



佳作
「天空の都市」
延田 凌(6年)

ドームからテントまで

世界中で大空間構造物にチャレンジ

太陽工業株式会社

東京(03)3714-3331・名古屋(052)541-5111・大阪(06)306-3111

札幌・仙台・広島・福岡・アメリカ・台湾・シンガポール・ドイツ

インターネットアドレス <http://www.taiyokogyo.co.jp>

百瀬測量登記事務所

土地建物の測量・調査・登記申請

〒452-0044西春日井郡西枇杷島町南六軒町13番地 TEL(052)501-5686

(みのじの館より東へ徒歩1分) FAX(052)501-5689

土地家屋調査士 百瀬 静
土地家屋調査士 百瀬 真代

BX

文化シャッター株式会社
中部支社 営業推進部

愛知県名古屋市東区泉1-9-22

名古屋BXビル4階 〒461-0001

電話 052-955-2231

FAX. 052-955-2551

<http://www.bunka-s.co.jp>機能やメンテナンス性に加えて、
デザインにこだわるならこだわりのクオリティ、
サンゲツの
カーペットタイル2006-2009
カーペットタイル
グラフィック
DT2006-2009
カーペットタイル
プレーン
NTSANGETSU <http://www.sangetsu.co.jp> 本社/名古屋店 TEL:052-564-3111 名古屋ショールーム TEL:052-564-3225

美濃路ウオッチング

地域づくり団体
全国大会開催

美濃路まちづくり推進協議会 臼井 鏡造

第24回地域づくり団体全国研修交流会が11月10日・11日、愛知県で開催されました。

全国各地の地域づくり団体及び各都道府県地域づくり協議会が一堂に会し、相互交流と自主的・主体的な取組みをより一層活性化させるためのものです。主催は、地域づくり団体全国協議会、愛知県地域づくり団体交流協議会他。テーマは〈「人」の元気が、

「地域」の元気／愛+智の国によろこし！〉。

10日はウィル愛知で、全体会が開催され、全国から集まったまちづくり人267名が参加し、基調講演が行われたあと、16の分科会に分かれ、それぞれのまちづくり地域へ向かいました。私達は、清須市「名古屋城から清洲城（美濃路）」分科会で、〈旧街道を活かす地域の知恵と文化〉をテーマとし、北は宮城県、南は九州3県から19名を迎えました。西区～西枇杷島的美濃路を見学。西枇杷島福祉センターで夕食をとりながら交流会が開かれました。翌11日は新川下外町から、和ろうそく、曲げわっぱ、お香の店など美濃路の町並みや、清涼寺～本陣跡～信長像～清洲城など歴史資産を歩いて体験してもらいました。清洲城で抹茶を飲みながら、

2日間的美濃路まちづくりの感想を語っていただき、キンピールへ。工場見学のと、できたての生ビールの試飲と昼食をとって分科会を終わりました。参加した行政の専門家や、民間のまちづくり活動家から、美濃路まちづくりが民間主導であることを評価され、また、活動における悩みを共有し、お互いに力を得て、各地に戻っていきました。



今回は『東本願寺御影堂御修復工事で京都見学会』と題して、京都にある東本願寺と京都国立博物館を見学してきました。東本願寺は、今から約400年前、1602年に現在の場所に建てられ、今回見学した『御影堂』



は、明治の再建（1885年）以来の大工事（屋根の葺き替えなど）の様子を見る事が出来ました。

まず驚いたのは、その規模の大きさです。

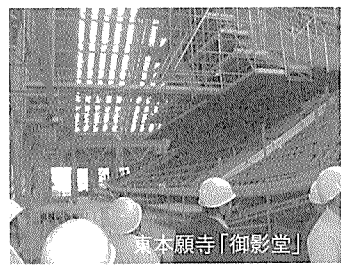
平成18年度
第1回研修見学会

徳力 真治

この御影堂は、建坪では東大寺の大仏殿を凌ぐ世界最大の木造建築物で、その建物をすっぽりと覆うように『素屋根』という仮設建物が造ってありました。間口90m・奥行80m・高さ51mもあり、巨大な工場のようなです。説明をして下さるスタッフの方についていながら、瓦の痛み具合や新しい工法などの説明を聞きました。昔の瓦は焼成温度が今と比べて低

かった為、凍害などで割れてしまっており、全体の7割ぐらいが交換の必要があるそうです。また、耐震性を考慮し、土を載せない空葺工法を採用するなど、工法・技術も進歩しているとのことでした。

今回の研修を通して、古いものの中にある新しい技術・新しいものの中にある古い技術について、もっと勉強してみようと思いました。

SRC造15F建 77戸
延面積9,906m²

会 | 員 | 作 | 品 | 岡田 建築設計事務所 代表 岡田 巖

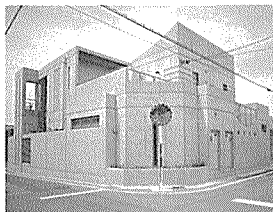
①歴史的なシンボルである岡崎城に隣接した分譲マンション「ロイヤルシティ岡崎公園」

2004年竣工

乙川を望む岡崎公園の一角に誕生。四季折々の風情を映しながらの上質の住まい空間を追求した。極上の眺望と、乙川の夜空を舞う躍動の芸術である花火大会を満喫できます。

②コンクリート打放しのコートハウス「六名の家」
RC造2F建 延面積422m² 2006年竣工

既存で築160年の伝統的民家を取壊すという葛藤の中、江戸時代の庄屋さんとしての物語性の中でコートハウスとして現代風に再現しました。中庭に面した老人室は、既存の丸太や大黒柱を活用し再生した。

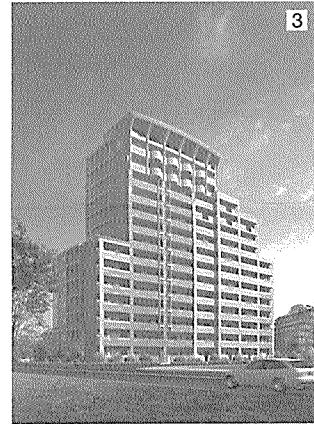


③岡崎市初の免震構造の分譲マンション

「レゾンシティ南岡崎」

2005年竣工

便利で賑わいのある都市空間をつくろうと、JR岡崎駅整備地区計画の中で、このエリアの活性化の新たな拠点として誕生しました。安心安全な質と美を極めた、街のランドマークとして仕上げました。

全国大会
(栃木大会)
と
青年部会
研修支部青年部長
鏡 哲也

平成18年10月20日（金）、第49回建築士会全国大会栃木大会の式典に参加してきました。私自身は本会青年部会の研修を兼ねて参加ということで、当日の式典、セッション参加はさることながら、大谷石の産地ということで研修見学した大谷資料館には圧倒されました。また、21日に行った

資料館付近の風景（20日）



常陸太田市総合福祉会館（21日）

膜構造の常陸（ひたち）太田市総合福祉会館、22日には東京のちひろ美術館など多数の建築を体感してきました。全国大会ついでに研修もまた勉強になりました。

建築総合展
NAGOYA 2006

支部監事 山田 正博

建築総合展が吹上ホールにて10月12日より3日間開催されました。

構造偽装・談合・エレベーターに対する信頼性といった諸問題が発生し業界に対して厳しい反省を求められる中、テーマの「原点」をどのように捉え表現されているのか興味ある展示内容であったと思います。建築展は昭和46年に第1回が開催され今回で36回となり私が建築に携わったスタートの年でもあります。当時は列島改造ブームの後半で大阪万博が吹田市で開催され、著名な建築家によるたくさんのパビリオンに目を輝かせ、その後何度も会場へ足を運びました。

建築展会場内では業界向けの多数のセミナー、学生コンペのプレゼンそして審査委員長黒川紀章氏の講演があり、学生から専門家そして市民まで多くの人々に最新の情報を発信できた事と思います。

(社)愛知建築士会設立55周年記念
第36回建築総合展
「建築士デー」懇親会

主催/社団法人 愛知建築士会



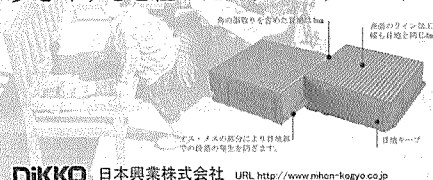
平成18年10月13日（金）
名古屋国際ホテルで開催されました。

平成19・20年度支部役員選出のお知らせとお願い

次年度、名古屋西支部の役員選出会議を、平成19年1月23日に開催いたします。選出会議に先立ち、広く会員の皆様より役員候補者の推薦（自薦・他薦）、並びに委員会への参画をお願いいたします。同封の推薦状により、平成19年1月10日までに返信下さい。併せて、西支部へのご意見・ご要望もお待ちしております。

バリアフリー
パイプ国内特許:第3469203号
米国特許:NO.6,705,797
意匠登録

累計50万㎡が物語る安心感人々が集う場所に
歩きやすさを極めたバリアフリーパイプ



nikko 日本興業株式会社 URL http://www.nikko-kogyo.co.jp

名古屋営業所

〒464-0074
愛知県名古屋市中千種区
仲田2丁目15-8
NTビル9F
TEL (052) 745-8125
FAX (052) 745-8085木楽な家
榮 玄和 木 料

●本社・工場

〒509-9131 岐阜県中津川市千旦林446
TEL:0573-68-5050 FAX:0573-68-5539
E-mail:honsha@kowamokuzai.com

●小牧支店

〒485-0028 愛知県小牧市東新町56
TEL:0568-41-3950 FAX:0568-41-3953
E-mail:shiten@kowamokuzai.com

学生のコラム



★ ★ ★ 山歩き同好会 ★ ★ ★



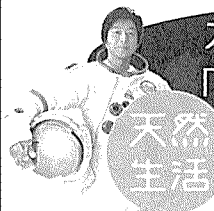
めいせい
山歩同好会
鈴鹿入道ヶ岳登山
2006・11・3

伊藤 恒利



サンドブラストは、ガラスコップにビニールテープを巻いて絵柄を書き、カッターナイフで絵柄を取ったところを砂で削って浮かび上がらせるというもの。コップの曲面を彫るのに四苦八苦しながらも、出来上がったオリジナルのコップに皆さん満足気な顔でした。今回も「モノづくり体験」を通し

地区	氏 名	生年	自 宅 住 所	自宅TEL	勤務先
中村	宮川 和利	S36	〒492-8075 稲沢市下津町落口1	(0587) 32-3236	(株) エムジーホーム
中村	加藤 雅彦	S35	〒491-0903 一宮市八幡2-8-7	(0586) 43-4896	(株) エムジーホーム
西	伊藤 幸元	S24	〒453-0838 中村区向島町4-18-4	411-4370	(株)浦野設計
西	上田 英治	S56	〒451-0042 西区那古野2-2-16 フォルグランド那古野703	582-9888	(株)犬飼設計
中村	土田 実	S37	〒500-8875 岐阜市柳ヶ瀬通り5-15-2	(058) 264-7257	大成建設(株)
北名 古屋	柴田 雅弘	S49	〒481-0011 北名古屋市高田寺起返19	(0568) 26-4118	(有) 柴田工務店
西	原 宏芳	S19	〒487-0005 春日井市押沢台4-16-18	(0568) 92-6590	(株)浦野設計
西	大野 恭裕	S30	〒490-1105 海部郡菰日寺町新居屋上古川7-2 スカイハイツ菰目寺L101	(080) 1472-8410	名古屋セキスイ ファエス(株)
中村	渡邊 靖夫	S21	〒450-0003 中村区名駅南1-5-4	582-6833	近鉄住宅管理 (株)
西	石切山佳彦	S56	〒452-0808 西区宝地町186-1	(090) 2133-8636	クラ設計
西	鏡 京子	S39	〒451-0061 西区浄心1-1-6 シティファミリー浄心911	521-2243	(株) TKアーキテクト
中村	山本 利夫	S23	〒470-2103 知多郡東浦町石浜平池上77	(0562) 84-0262	(株) 新構造企画



ガスから「電気」と「熱」を生み出す。
エコウィルではじまる、21世紀型エネルギーライフ。
光熱費が年間約35,000円お得！※当社試算額

さあ、ガスの時代。東邦ガス

東邦ガス 北部支社 TEL 0568-73-2472

建築基準法解説シリーズ

令第46条の解説

解説担当 馬場 富雄

先回は耐力壁の解説の前段として、市街地建築物法と建築基準法との親子関係についてお話ししましたが、今回はその中味の解説にはいります。例によって令第46条第4項の条文を掲げます。

第46条

第1項 } 省 略
第2項 }
第3項 }
第4項

階数が2以上又は延べ面積が50m²を超える木造の建築物においては、第一項の規定によって各階の張り間方向及びけた行方向に配置する壁を設け又は筋かいを入れた軸組を、それぞれの方向につき、次の表一の軸組の種類の欄に掲げる区分に応じて当該軸組の長さと同表の倍率の欄に掲げる数値を乗じて得た長さの合計が、その階の床面積（その階又は上の階の小屋裏、天井裏その他これらに類する部分に物置等を設ける場合にあっては、当該物置等の床面積及び高さに応じて国土交通大臣が定める面積をその階の床面積に加えた面積）に次の表二に掲げる数値（特定行政庁が第八十八条第二項の規定によって指定した区域内における場合においては、表二に掲げる数値のそれぞれ1.5倍とした数値）を乗じて得た数値以上で、かつ、その階（その階より上の階がある場合においては、当該上の階を含む。）の見付面積（張り間方向又はけた行方向の鉛直投影面積をいう。以下同じ。）からその階の床面からの高さが1.35m以下の部分の見付面積を減じたものに次の表三に掲げる数値を乗じて得た数値以上となるように、国土交通大臣が定める基準に従って設置しなければならない。

表 省 略

（解説） 非常に長い文章です。一読しただけでは、さっぱり理解できません。丁度よい機会ですので、少し脱線しますが、この事についてお話をしたいと思います。建築基準法令の中には、非常に解り易く明快な箇条方式になっている場合と、一見理解しにくい長文方式が混ざり合っています。なぜ解り易い箇条方式に統一出来ないかと思われるのも無理はありません。しかしこれにはやむを得ない事情があるのです。皆様すでに御承知の通り建築基準法は昭和25年11月に制定されまして、その後56年を経過しました。その間建築界の発展で新技術、新用途、新公害と次から次へと事情が変わり、その度毎にこの法律も次から次へと対応したものをつぎ足してゆくことになってしまいました。その結果御多分にもれず、つぎはぎだらけとなり昭和25年の制定当時の原形をとどめない程の状態になっております。最近「もうやめてくれ、一度御破算にして新しい法律文を作り直してくれ」という声もかなり大きくなってきました。なぜこんなお話をしたかと申しますと、これが箇条方式と長文方式が混合する原因なのです。すなわち法令改正、追加等は長年に渡って何回か行ってきたものですから、その度毎、度毎に建設省（現国土交通省）が法改正、追加等の立案をします。そして国の法務の担当者の承認を受け、初めて国会の議案として提出されるのです。その法務の担当者は三年か四年毎で人事移動しますので法令改正、追加を持上げる度に担当者の顔が変わっているのです。小泉前首相が「人生いろいろ」といって皆を笑いに誘ったのですが、たしかに「人間の性格もいろいろ」で箇条方式の好きな方と、長文方式の好きな方がおみえになるのです。箇条方式で案を持っていても長文方式に訂正させられることが、ままあるのです。私の現役中の思い出ですが、大阪の千日デパートの大災害（1972年死者116人）を受けて令第112条（防火区画）に堅穴区画の規制が新設された時の事です。最初建設省から届いた案は箇条方式となっており、かなり解り易かったのですが、実際に法務の担当者を通して見たものを見て、びっくりしました。ものすごい長文方式で一読しただけでは何が書いてあるか、さっぱり解りませんでした。皆さんお暇なときに令第112条第9項を国語の勉強のつもりで読んでみて下さい。文章が切れずに、だらだらと続くのです。ある弁護士の方がこれを読んで「こんな難解な文章は他の法律にないよ！」とまで言われました。あとで建設省の方から聞いた話ですが法務の担当者と打合せた結果、そのようになってしまったとのこ

とでした。ではなぜ解り易いように訂正しないかと申しますとその必要はないのです。要するにどんな表現方法でも一度その内容を理解してしまえばそれでよいのです。毎日毎日苦しむ訳ではありません。かなり脇道にそれていましたが、ここで条文の内容に戻ります。この第4項の長文を解り易く箇条書にしますと次のようになります。

- ① 平家建で50m²以内のものは適用除外とする。
- ② 壁、屋根の重たいものと、屋根の軽いものに分けて、それぞれの耐震壁の必要量を定める。
- ③ 風圧による耐震壁の必要量を算出し地震時のそれよりも必要量が大なときは風圧による必要壁量を採用する。

紙面の都合で今回は①の説明のみとします。②については「めいせい」第49号、③については「めいせい」第50号でくわしく解説する予定です。それでは①について説明します。この木造の構造規定で適用除外のことを定めているのは令第40条の「茶屋、あずまや等、10m²以内の物置、納屋等」（めいせい第15号で解説）と今回の令第46条第4項だけです。なぜ①のように決めたかを知るには昭和25年当時にこの法律案を作成した担当者のメモでもあればはっきりするのですが私は存じません。それで私なりに推理すると当時の社会情勢としては敗戦の昭和20年より5年を経過し経済成長がやっと始まりかけた頃でした。住宅に関しては資材統制も解除されて狭小住宅（15坪以下）は造られなくなっていました。そこで法律の立案者は15坪を越える面積の建物に適用したのではないかと思います。15坪は平方メートルに直しますと15坪×3.3m²=49.5m²となり、約50m²となります。この50m²という数値は学術的にも説明できないことはありません。50m²は正方形に直すと一辺が約7mとなります。建物ですから四面全部壁となり壁の張り間方向、けた方向はそれぞれ14mとなります。出入口とか窓とかありますので、その分と筋かいを入れていない部分の壁長の低減を考えても全壁長の40%減位でよいと思います。故に14m×0.6=8.4mとなり面積1m²当りの壁長は840cm÷49m²=17.1となり丁度規制値15近くの値で満足します。同じ考え方で面積を40m²、30m²と小さくして計算していきますと更に安全側になっていきますので50m²以内は規制を考える必要がないということになります。

（以下次号）

春 夏 秋 冬 姉齒事件

初めて姉齒事件が明るみに出てから一年以上が経過しました。事件の影響は皆様ご存じの通り、建築界にとってもこれまでにない激震をもたらしました。結局のところ、事件そのものは姉齒の一人芝居だったようですが、審査のありかたなど様々な問題を我々に与えてくれました。建築の仕事は性善説になりたっているとか、それではい

けないとか色々言われましたが、私は建築士というものは弁護士等と同様に依頼者との信頼関係で成り立つ職業だと思っています。私も数多い建築士の方と知り合っていますが、一人として姉齒のようなものはいません。こういった事件が起きると世間は氷山の一角のようにとらえますが、ことこの事件に限っては当てはまらないと思います。但し、未熟さやミスというものは当然ありますので審査はしっかり行ってもらわなければいけないと思います。

副支部長 江口 眞樹

編集後記 毎回、第1面は硬くなりがちな記事内容なので、今回は児童絵画コンクールの欄を大きく採りました。そして共通事項として、極力余分な線を無くしました。編集委員会が終了しても、さらに45分程超過して段取り作業を終えました。些細なことでも、「少しでも読み易さにつなげたい」と考えています。どうか皆様のご意見・ご感想をお寄せください。 N・M



超高強度軽量コンクリート製OAフロア

ネットワークフロア - Eco 29/40

エコマーク認定番号 第 03123060 号

共同カイツク株式会社

http://www.ky-tec.co.jp

（中部FS営業所）〒450-0003 名古屋市市中村区名駅南1-24-8 TEL (052) 581-0204

建築関連資格の最高峰

建築士

ライフ構築+マンツーマン指導

人気の国家資格にチャレンジ

宅建

「理解」に重点を置いた指導

—— 建築士・宅建受検の名門 ——

名古屋校 TEL.052-202-1751 岡崎校 TEL.0564-57-8161
小牧校 TEL.0568-42-1211 豊橋校 TEL.0532-57-0311

総合資格学院

http://www.shikaku.co.jp

シロアリ予防と高級なベランダ防水（水性塗膜）

木を愛し、住まいを守る



株式会社 アイキ

（旧社名 株式会社 中部しろありセンター）

本社 名古屋市天白区八事天道913番地 Tel.052-834-1010（代）
代表取締役 田中 研一

住宅都市局機納品用

電子データ作成致します。

設計図・工事完成図イメージデータ作成 (TIFF)
提出用CD-RW・CD-R作成
イメージデータ一覧表作成

必要なもののみのご注文も可能です。
お気軽にご相談下さい。



データ出力はウエルオンシステムで
上質、ドレベ、和紙などのデータ出力は
ウエルオンデマンドが得意です!!
1ファイル200MBまでのデータ送信可能

納期の短縮
Web 割引
メールにはないセキュリティ
登録 無料

株式会社 **ウエルオン**

お問い合わせ先 TEL:052-732-2227 FAX:052-733-3178
URL http://www.well-on.co.jp e-mail honbu@well-on.co.jp